

令和4年度 第57回群馬県中学校総合体育大会
第64回群馬県中学校剣道大会要項

1. 主催 群馬県中学校体育連盟 群馬県教育委員会 群馬県中学校長会
前橋市教育委員会
2. 後援 群馬県市町村教育委員会連絡協議会 (公財)群馬県スポーツ協会
群馬県剣道連盟 上毛新聞社 FM GUNMA 群馬テレビ
3. 期日 令和4年7月27日(水) 女子・男子個人戦
女子開場・役員集合 午前 8時00分
開始式 午前 9時00分～
男子開場 午前 9時00分
開始式 午前 10時50分～
令和4年7月28日(木) 女子・男子団体戦
女子開場・役員集合 午前 8時00分
開始式 午前 9時00分～
男子開場 午前 10時00分
開始式 午前 12時00分～
4. 場所 「ALSOKぐんま武道館」
前橋市関根町800 TEL 027-234-5555
5. 試合方法 男女個人戦 トーナメントとする。
男女団体戦 予選リーグ、決勝トーナメントとする。
6. 参加資格 (1) 学校教育法に定める中学校の生徒で、群馬県内の中学校に在籍し、当該学校長の参加許可を得たものとする。
(2) 上記以外の学校に在籍し、群馬県中学校体育連盟で参加を認め、所在する中学校体育連盟の予選を経て、参加資格を得た生徒。
7. 監督・引率 (1) 参加生徒の監督・引率は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。
(2) 監督の条件等は、県中体連「運動部活動顧問等の指導中における暴力・体罰・セクハラ等に対する対応」による。
8. 出場制限 男子団体戦 24校(ブロック代表14校+春季大会ベスト8校+予選校数の多い2ブロックから各1校)
男子個人戦 80名(ブロック枠各2名+春季ベスト8名+予選校数割44名)
女子団体戦 24校(ブロック代表14校+春季大会ベスト8校+予選校数の多い2ブロックから各1校)
女子個人戦 80名(ブロック枠各2名+春季ベスト8名+予選校数割44名)
9. 参加料 1人 300円
※7月21日(木)プログラム編成会議にて各郡市出場分をまとめて委員長が払い込みをする。
※団体戦、個人戦どちらにも出場の場合は、重複せずに一人分300円を払い込む。
10. 規則 竹刀は3尺7寸までとする。(長さ男女114cm以下、重さ男440g、女400g以上、太さ男25mm以上・女24mm以上、ちくどう部直径値男20mm以上・女19mm以上とする)。当日、検量を実施する。その他は全日本剣道連盟剣道試合・審判規則による。
11. 審判 中体連剣道部審判部・高体連剣道部審判部・県剣道連盟関係者
12. 表彰 団体戦・個人戦とも1～3位のベスト4に賞状とメダルを与える。
ベスト8に敢闘賞を与える。
13. その他 (1) その他については、大会細則・確認事項を確認すること。
(2) 関東大会出場について ①団体戦 男女上位6校とする。(5位、6位の代表決定戦を行う)
②個人戦 男女上位4名とする。
(3) 全国大会出場について ①団体戦 男女上位1校とする。
②個人戦 男女上位2名とする。
14. 組み合わせ・申し込み 令和4年7月21日(木) 前橋市立第七中学校
15. 連絡責任者 前橋市立大胡中学校 廣瀬 文彦
電話 027-283-2004

○新型コロナウイルス感染予防対策について

- ・全剣連・群剣連の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインにある、飛沫飛散抑制効果の高い鼻まで覆った面マスクとマウスガードの両方を全選手が必ず着用する。(フェイスガードの着用も可)
- ・全剣連より出された「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」の中の、【暫定的な試合・審判の方法】という項目の「3」につばぜり合い、引き技の記載を受けて、「試合者はつばぜり合いを避ける」よう指導し、「やむを得ずつばぜり合いとなった場合は、すぐに分かれるか引き技を出すようにさせる。」「掛け声は出さない(引き技時の発声は認める)。」「審判員はつばぜり合いを解消しない場合は、ただちに「分かれ」を宣告する。」等の対策を講じて試合を実施する。また、以上を受けての試合審判に関しての統一事項も踏まえ試合を行っていく。
- ・会場入場者には、マスクの着用を義務化する。
- ・アルコール消毒液を設置する。
※会場で使用する消毒液(役員・審判の手指、机・椅子の消毒用)については、競技部で用意する。
選手の使用分については、できる限り各校・各自で準備するよう協力を願う。
- ・本大会は、有観客で実施する。
1日目個人戦は生徒一人につき2名まで、2日目団体戦はチームで最大14名までの観客の入場を認める。緊急時対応教員は観覧席で待機し、観客の最大人数に含めない。外部指導者は審判員として協力を願い、そうでない場合は観客として最大人数に含める。ただし感染拡大状況によっては、無観客での実施とする場合もありうる。
- ・試合場には、役員・審判員・補助員・監督・選手・補員以外は入れない。
- ・大会の補助役員となる生徒以外は、来場させず、自宅待機をさせる等の配慮をする。
- ・男女の待機場所を分けて開催し、会場内に入っている人数を減らす。
- ・応援は拍手のみとし、声援は認めない。
- ・両日共に学校で使用している健康記録表(一週間前の様子が確認できるもの)を用意する。
- ・各家庭で早朝の検温を行い、引率の顧問が確認する。
※場合によっては、会場で検温を行う。
- ・コロナウイルス感染症対策として、給水ボトル等の共用は行わない。

○熱中症対策について

- ・鼻まで覆った面マスクとマウスガード着用での試合になるので、試合中の休憩を早めにとり、水分補給をしっかり行わせる。
※団体戦・個人戦での延長戦は2分ずつ区切る。
試合時間3分 ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 ⇒ 【小休止(深呼吸をする程度)】
⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 ⇒ 【面を外しての休息(3分)】
⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 ⇒ 【小休止(深呼吸をする程度)】
⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 ⇒ 【面を外しての休息(3分)】 ⇒ 試合の続く限り繰り返す。
- ・熱中症対策の水分補給時であっても、給水ボトル等の共用は行わない。